

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2018年 1月 9日作成

研究課題名	日本産科婦人科学会周産期登録データベースを使用した 2010 年妊娠糖尿病の診断変更に伴う、児出生時体重の検討に関する研究
研究の対象	日本産婦人科学会の周産期登録データベースに登録されている妊産婦
研究目的 ・方法	2010 年の妊娠糖尿病の診断基準変更に伴い、妊娠糖尿病と診断される妊婦の有病率は 3-4 倍に急増し、医療コストの上昇が予想されているが、基準変更前後の糖尿病関連合併症の有病率の推移については日本での大規模な検証はなされていない。本研究では診断基準の変更により、それら有病率の変化について検証することを目的とした。日本産婦人科学会の周産期登録データベースを用いて、妊娠糖尿病診断基準の変更前後での巨大児や Heavy-for-date の頻度を検討する。母体背景と、児の出生体重、heavy-for-date の頻度について、統計学的に検討を行う
研究期間	西暦 2017年 9月 5日（承認日）～ 西暦 2018年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	日本産婦人科学会周産期データベースより 母体：分娩時年齢、母体体重、非妊時母体 BMI、分娩時妊娠週数、分娩時合併症（肩甲難産など） 児：性別 出生時体重 アプガースコア 5 分値、臍帯動脈血 pH
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>本研究は、すでに匿名化された情報を用いて行うため、研究の対象としないことは不可能です。よって、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従って、本情報公開用文書を以って公開することといたします。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター</p> <p>担当者の名前 笠井絢子</p> <p>電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-5784</p>	